

# 改憲動向の現状とそれへの対抗

9月8日のアレンティの案内

●会場：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

京都市南区東九条東岩本町 31 TEL075-671-0108

●日時：9月8日(日曜日)午後1時30分開場 2時開始

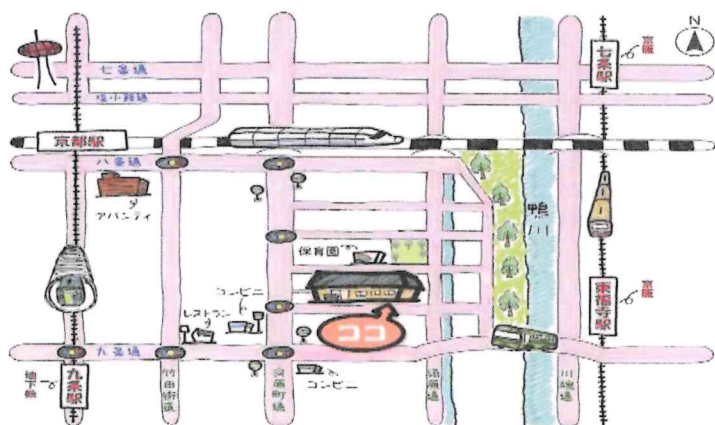
●報告：奥野恒久 龍谷大学政策学部教授

(奥野恒久先生の提案)

憲法改正につき、96条に基づく明文改憲と、改正手続きを経ることなく規範内容を変更する実質改憲があるとされています。明文改憲として最も狙われているのが、緊急事態時に国会議員の任期を延長するための改憲論ですが、岸田首相はこの9月初めに自衛隊明記のための9条改憲も提起しました。実質改憲としては、2022年12月の「安保三文書」の閣議決定以来、「安全保障政策の大転換」としてまさにいま進められています。敵基地攻撃能力の保有や、防衛費の大増額、武器輸出などです。さらに、経済安全保障も重要です。

今回の報告では、このような動きが国会での十分な議論も、憲法論議もないなかで進められている問題を取り上げ、それにいかに対抗していくかについて議論をしたいと思います。

## 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン



連絡先 きょうとユニオン・大野

メール [usumurasaki@outlook.jp](mailto:usumurasaki@outlook.jp)

電話 09063745499

**アレンティ**はたまり場です。  
どなたでも参加できます。

労働相談はきょうとユニオン(京都地域合同労組)へ

TEL075-691-6191 fax075-691-6145